

まちてくギャラリー ⑤⑤
さいとうよしとも 展
11月3日～1月31日



まちてくギャラリー

まちを歩けばてくてく美術が見える



撮影上下とも さいとうよしとも

さいとうよしともさんは浮田で生まれて、岩手大学特設美術家を卒業後から、数々の展覧会で作品を発表し続けています。

上の写真は金星の建物の壁に写真を展示した、2013年のときのものです。下は翌2014年の街かど美術館で、自身が産まれた浮田の家を訪れて撮影した映像です。それを外してきた障子に映し出したものです。

さいとうさんは、ひとが暮す「場所に、とても強い関心を持ち、そこに暮す事の意味を、強烈な映像にして、問いかけているのだと思います。

しかし、白血病に罹患してしまったさいとうさんは、yymmdd という年月日の記号をタイトルに日々の短い記述だけの日記のような記録に病院での日常の写真をつけて、作品として色々なカタチで発表し続けています。

それはユーチューブであったり、画廊であったり、<https://www.saitoyoshitomo.com/> 闘病のサイトでも、とても短く、乾いた文章で自身の気持ちの移ろいを綴り続けています。



私たちが生きるということは、何かを表現し続けることでもあると思います。喜びも、哀しみや充足したことなど、日々身の回りにおきることによって反応をしながら生きて、それを共有し、分かち合うことが自分が生きていることの実感の手伝いになっているのだと思います。